

---

KEEP 変数名のリスト ; or KEEP ALL;

---

機能 :

KEEP は、現在オープンしている TSP データバンクに変数を保存します。

使用法:

KEEP に続いて、実行された最後の OUT ステートメントで指定されたデータバンクに保存したい変数のリストを指定します。データバンクは、現在 TSP プログラムの中で使っているものでないといけません。変数は (GENR や SET ステートメント、行列計算の結果、そして CAPITAL, SAMA などのプロシジャーのアウトプットとして) 変更されたり作られたりすると自動的にデータバンクに保存されます。しかしながら、はっきりと方程式のような変数の保存を指定することが便利でしょう。あらゆる TSP 変数は KEEP することができます。これは 方程式、定数項、パラメータ、行列、系列、リスト、そしてモデルを含みます。

もしデータバンクを途中の計算結果やプログラムエラーでごちゃごちゃにしたくなかったら、OUT ステートメントを使ってデータバンクにデータを保存し、かつ実行の最後で KEEP ステートメントによって保存したい変数をすべてはっきりと指定するのがよいでしょう。もし MAXERR (オプションを参照) をゼロにしておけば、エラーになった場合にはデータを保存する前に TSP プログラムを中止します。

KEEP ALL ; はすべての開いているデータバンクにすべての変数を保存するようにします。

例:

```
OUT PDATA:
FRML EQ1 Y1=A1+B11*LNP1+B12*LNP2/(A1+G11*LNP1+G12*LNP2) ;
FRML EQ2 Y2=A2+B12*LNP1+B22*LNP2/(A1+G12*LNP1+G22*LNP2) ;
PARAM A1 A2 B11 B12 B22 G11 G12 G22 ;
LSQ EQ1 EQ2 ;
KEEP EQ1 EQ2 A1 A2 B11 B12 B22 G11 G12 G22 ;
```

この例では 2 本の非線形最小 2 乗モデルを決めて推定し、方程式とパラメータ推定値をデータバンク PDATA に保存します。LSQ ステートメントは終了すると自動的に現在のパラメータ値を保存しますから KEEP ステートメントでそれらを指定するのは無駄になります。方程式 EQ1 と EQ2 は TSP プログラムで OUT 文が実行される前に定義されているので、KEEP でそれらの名前を指定しなければ保存されません。

アウトプット:

KEEP はアウトプットがありません。指定された変数は印をつけてデータ領域におかれ、TSP の実行の最後に適切なデータバンクに保存されます。